

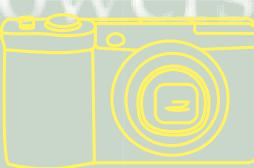
大阪市

みどりの ウォーキング コースマップ

OSAKA
Walking MAP

いくのく 生野区

No.15/24区



大阪市内の花と緑の名所を巡る
ウォーキングマップです。
マップを片手に、ゆっくりと楽
しみながら歩いてみて下さい。
きっと、まちなかの自然の魅力
を再発見できることでしょう。

生野区

古代からの歴史とまちなかのみどりを巡ろう!

万葉の時代からの歴史が残された生野区は、今もだんじり・地蔵盆など地域伝統行事が大切に守られた、下町の良さを残した人情味豊かな町です。このコースではまちの歴史を伝える社寺仏閣や大木を見て回るとともに、地域のみなさんの優しさのこもった花壇を楽しむことができます。下町のなつかしさとコリアタウンの異国情緒を満喫することができます。

① 御勝山公園・御勝山南公園

20分
(1.5Km)

生野東公園

60分
(3.9Km)

生野八坂神社

35分
(2.3Km)

円徳寺

55分
(3.7Km)

生野区花づくり広場

20分
(1.4Km)

カシ大木

ムクノキ大木

勝山通

御勝山公園・御勝山南公園

5世紀頃の古墳が公園になっています。御勝山公園は豊かな緑を湛え、小広場にはサクラなどが植えられています。御勝山南公園にはクスノキの大木が多いほか、サクラ、アジサイなどが植えられ、地元住民の憩いの場となっています。

室町時代、楠正成の孫正長が住んだ天神社のあった所といわれています。正長は祖父正成や叔父正行の戦跡を訪ねたのち、この地の戦で果てた一族の慰靈に努めました。記念碑には寄り添うようにみごとなクスノキの大木が立っています。

市民ボランティアの方々によって、花を種子から育てて区内の各所で飾っています。花づくりや水やりを通じて子供から高齢者まで世代を超えて交流するとともに、まちの環境美化を目指しています。

区を代表する公園で、秋に行われる「生野まつり」の会場でもあります。グラウンド沿いのイチョウ並木や広場周辺のクスノキは心地よい木陰をつくり人々の憩いの場です。大阪市の「花の公園（ツバキ）」にも選ばれています。ナツツバキ、サクラ、ハナミズキは多くの人の目を楽しませてくれます。

仁徳天皇を主祭神として祀り、江戸時代までは「御幸宮」と呼ばれていました。境内には、ムクノキやクスノキの大木が繁り、特にムクノキの老樹5本は、大阪市保存樹林の第1号に指定されました。住宅や商店が建ち並ぶまちの鎮守の森です。

トータル所要時間

3時間10分 (約12.8km)

※所要時間は目安です



御勝山公園



生野西4公園



楠正長史跡公園



生野区花づくり広場



巽公園



御幸森天神宮



勝山通